

# ヒヨドリの飛来状況、ヒヨドリによるスモモ花芽、蕾、花の食害発生の品種間差

令和2年4月7日

農業技術課 果樹担当 川合

## I ヒヨドリの飛来状況、食害個体数

### 1 ほ場内への飛来個体数調査

- (1) 調査月日、時間 令和2年4月7日 10時～12時
- (2) 果樹試験場内の約20aのスモモほ場で約5分間、3回達観調査。

### 2 結果

- (1) ヒヨドリ以外の鳥類の飛来は認められなかった。ヒヨドリは、発芽前の硬い芽、蕾、花を食害していた。
- (2) 約20aのほ場内を5分間観察したところ、15～20羽のヒヨドリが飛来し、食害していた。
- (3) 調査時には「ハリウッド」への食害が盛んで、1樹あたり約5羽が食害していた。



図1 「シナパール」腋芽花そうの食害

## II ヒヨドリによるスモモの花の食害発生の品種間差

### 1 調査方法

- (1) 調査月日 令和2年4月7日
- (2) 調査品種  
「シナノパール」、「ハリウッド」、「ミロバランスモモ」、「大石早生」、「太陽」、「貴陽」、「サマービュート」。

### (3) 調査方法

1年枝10～15本について腋芽花そうの食害(図1)発生の有無を達観調査した。

### 2 結果

- (1) 被害腋芽花そう率は「シナノパール」が極めて高く、次いで「ハリウッド」、「ミロバランスモモ」が高かった。
- (2) 「大石早生」、「太陽」、「貴陽」、「サマービュート」の被害はほとんどなく、実用上問題はなかった。

表1 ヒヨドリによるスモモ腋芽花そうの食害発生状況の品種間差 (2020. 4. 7)

品 種	調査 腋芽花そう数	食害 腋芽花そう数	食害 腋芽花そう率
シナノパール	300	288	96.0
ハリウッド	300	169	56.3
ミロバランスモモ	300	32	10.7
大石早生	300	6	2.0
太陽	300	3	1.0
貴陽	300	1	0.3
サマービュート	300	1	0.3



図2 「シナノパール」の食害の様子(4/6)



図3 「太陽」の満開の様子(4/6)



図4 「シナノパール」 ジョイント仕立て食害の様子(花がほとんど無い 4/7)



図5 「ミロバランスモモ」の満開の様子(4/7)



図6 「ハリウッド」の食害の様子(4/7)



図7 「シナノパール」の食害の様子(4/7)

### III ヒヨドリの特徴

- 1 体長：約 30cm。すずめより大きく、鳩より小さい。
- 2 体色：全身は灰色、腹には白と灰色の模様がある。翼と尾羽は灰褐色。目の下に茶色の模様、頭は青灰色で、頭には冠羽（羽が逆立つように見える）を持っている。
- 3 分布：日本全国に分布し、山間部や農村部に多く生息している。
- 4 食性：雑食性で昆虫類、果物や花、蜜、木の実など。
- 5 移動性：地域に定着している個体と、気候の変化によって移動する個体がある。冬に餌が少なくなると、関東より以西に移動して果樹の花芽などを食害する。
- 6 防鳥対策：網目の小さい 30 ミリサイズの防鳥網や防鳥テープを設置する。その他は、案山子（かかし）、吹き流し、などを用いて鳥の警戒心を煽り、近づかせないようにする。  
 スモモ、プルーン、アンズなどの開花期前後の防鳥対策では、期間が短いため、上記対策を組み合わせ、変化を持たせて実施する。

収穫前の果実には現状、防鳥網の設置の他に対策はない。



図8 ヒヨドリ  
(果試場内 ハリウッドを食害中 4/7)